

総合計画(中期)策定に向け、平成30年3月に18歳以上の市民から無作為に抽選された2,000人にアンケート調査を行い、630人の方から回答をいただきました。その際いただいた意見や質問、提言などについて、毎月テーマごとに、市としての方針や考え方などをお知らせします。



## 今月のテーマ 子育て施策について

いただいた意見、質問、提言など

◆子育てに関する問い合わせ  
こども未来課子育て支援係  
☎01654③2111(内線3245)

「子育て世代が共働きしやすい環境(待機児童問題やその他の支援)をもっと整えてほしい」  
「ひまわりらんどやファミリー・サポート・センターなどの利用状況を広く周知していただくと嬉しいです。また、活動状況やイベントをもっと広く情報発信していただきたいです」  
「乳幼児だけでなく、小児科にかかる医療費助成の年齢をもう少し拡大してほしい」 など

## 回答

市の保育所などの4月1日付けの入所においては、昨年度から実施しております待機児童解消緊急対策事業の実施により、保育士などの確保が出来たため待機児童は発生しませんでした。しかし、年度途中における入所申し込みでは、児童の年齢によっては入所調整が難しい状況にあります。市では今後も、保護者が働きやすい環境をつくるため、保育士の確保や保育環境整備に努めてまいります。また、年度途中での入所が困難な場合には、一時保育やファミリー・サポート・センターの活用を検討していただきたいと思っております。

昨年度の「ひまわりらんど」「ファミリー・サポート・センター」の活用状況は以下の表のとおりとなっております。「ひまわりらんど」の行事などは、広報なよるにおいて毎月周知しており(今月号は20ページに掲載)、ファミリー・サポート・センターのイベントは、会員向けに案内を送付しているほか、ファミサポ通信を発行し紹介しております。また、市のホームページにおいても「ひまわりらんどだより」を掲載しているほか、社会福祉協議会のホームページにて紹介しておりますので、そちらもご覧いただきたいと思っております。今後も広く情報発信していくよう努めます。

乳幼児などの医療費助成について、市は市立総合病院において、道内では数少ない小児科の24時間診療体制を整備するなど、安心して医療を受けられる小児医療体制の充実に努めてきており、医療費助成だけでなく、総合的な子育て支援を実施しております。

これまで、平成27年10月に開所した「ひまわりらんど」をはじめ、平成28年度からは乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業を開始し、10月からはファミリー・サポート・センター事業が運用開始しました。また、平成29年度には子育て支援活動を実施している団体への補助制度を整備し、子育て環境の充実に努めているところです。今年10月からは新たに、お母さんのこころとからだの健康を守ることを目的に「産婦健康検査」「産後ケア事業」を開始し、こどもが健やかに生まれ育ち、安心して子育てができるよう、医療費助成だけでなく、総合的な支援を実施しております。

平成29年度		合計	
ひまわりらんど	来館者数	8,812組	19,459人
ファミリー・サポート	利用回数	187回	

平成29年度登録数		
ひまわりらんど	親	506人
	子ども	673人
ファミリー・サポート	利用会員	120人
	提供会員	21人
	両方会員	15人

## ▶次回のテーマ(予定) 商工振興について